# ンティア紹

今回は、「呼吸法と気功」の活動を ご紹介します。

> 当院副院長である雨宮隆太先生(楊 名時太極拳師範)を中心に、毎週火

曜日17時30分から18時30分まで実施しています。雨宮 先生は、手術後の患者様や高齢者の方が転倒したり寝た きりにならないためにも太極拳を推奨しています。この 日の参加者は、23名。多いときでは40名近くなることも あるとの事。代表的メンバーの金箱廣美さん(89歳)は 太極拳の師範であり、当院で大腸がんの手術をうけたこ とがきっかけでボランティア活動をされています。

慌ただしい日々を送っている私には、ゆったりとした "呼吸と動き"そして、参加者皆様の優しい笑顔に癒さ れた取材でした。

> (取材日時:6月10日18時リハビリ室にて) ボランティア担当:糸賀 三恵子

当病院で活動されているボランティアの方々の 活動状況及び作品等をご紹介してまいります。





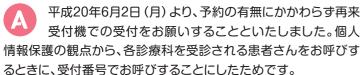




意見箱より

# 再来受付機での受付…

予約しているのに、なぜ再来受付機で の受付が必要になったのでしょうか?



診察券を再来受付機に挿入していただきますと、予約内容が表 示され、確認をタッチしていただきますと2枚の同じ受付票が出力 されます。1枚を診療科窓口へ提出していただき、1枚はご自分の 控えとなります。

皆様のご協力をお願いいたします。

地域医療連携相談室 立花 不二夫







# お待ちしております!

何かありましたら、各階にございます意見箱を

メールによるご意見もお待ちしております。

50名

あなたのやる気を応援します。

もう一度「看護の道」にチャレンジしてみませんか? あなたの成長を支援します。

あなたの成長と キャリアアップを サポートします!

\*質の高い看護と魅力ある職 場づくりに努力しています。

\*教育、研修、安全管理体制を しっかり整え、スタッフ全員で

梅雨の季節も終わりそろそろ夏本番。夏はさわやかな季節で ある一方、厳しい暑さに体調を崩しやすい季節。元気にそして 楽しくこの季節を乗り越えたいですね。この夏号が少しでも皆 様のほっとする一時に役立てばと願いつつ・・・ 広報委員 N.K

# キッズくらぶ イン ホスピタル

小学生とその保護者を対象に医療現場を体験(模擬)し医療に対 する興味を持って頂き、さらに患者と医療スタッフの快適な医療 環境を築くことを目的に開催します。

●日時:7月26日(土) 10時~16時 ●場所:茨城県立中央病院内

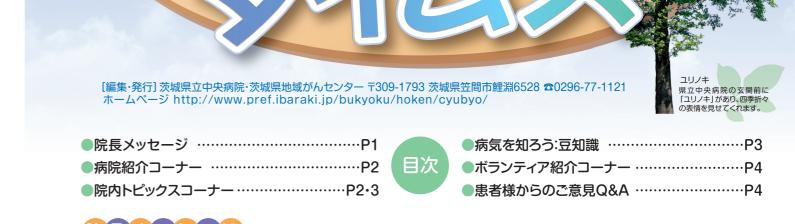
### ふれあいコンサートのお知らせ

ボランティアと職員による手作りコンサートを下記により開催い たします。内容は、オカリナ演奏・合唱・ピアノ演奏などを予定して おります。皆様どうぞお楽しみに。

> ●日時:8月7日休 19時~20時 ●場所:茨城県立中央病院 1階 レストラン

# 茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121 ホームページ http://www.pref.ibaraki.jp/bukvoku/hoken/cvubvo/



IPCH 茨城県立中央病院・茨城県地域がんセン



茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 院長永井秀雄

医療は専門家だけのものではありません。「一般の人 たちすべてに関わって欲しい。そうする権利がある」。こう 私は考えてきました。すべての国民が政治に関わる権利 「参政権 | になぞらえ、医療に参画する国民の権利を私は 「参療権」と呼んでいます。



しかし「参療権」の行使には医療の知識がある程度必要 です。しかも、できるだけ早くからその知識を持つ必要が あります。生と死とに直結する医療の知識は、まさに社会 生活の根幹であり、それは子どもの頃から身につけておく べきだと考えるからです。

義務教育の中で、がんのことや、心臓や肝臓の病気のこ と、糖尿病のこと、救急蘇生法のことを系統的に教わった ことがあるでしょうか。

そんな疑問から、子どもたちに医療を教えようと思い立 ちました。昨年の夏、キッズくらぶ・in・ホスピタルを立ち上 げた理由はここにあります。学校の夏休みを利用して小 学生と父兄を病院に招待しています。診察のしかた、救命 処置の基本、内視鏡の世界などを具体的にお見せし、実際 にやってもらいます。むずかしいことではありません。子 どもたちの目を見ればわかります。輝いているのです。 「医療をもっと身近に! 」。これが私たちの願いです。

# 病院紹介學學

# 「病理外来」つて何?

当院では6月から毎週水曜日の午後、「病理診断科」による「病理外来」を始めました。いったいどんな「外来」なのかご紹介したいと思います。

皆様は、「内科」や「外科」はご存知、でも、「病理診断科」は、ご存知ですか。「病理診断科」の医師は、普通は、患者の皆様の前にでることはありませんが、「病理診断」という作業を通じて、臨床各科の先生方と一緒に診療に参加し、皆様を見守っています。いわば「縁の下の力持ち」ですが、当院では、3人の常勒医が従事しています。

さて、「病理」とは「病気」を「理解」すること。「病理(学)」の歴史は、近代「医学」が発展してきた歴史そのものと言っても過言ではありません。11世紀の中東イスラム世界を経て、ヨーロッパのルネッサンス時代、人体の構造を明らかにするために初めて人体解剖が行われ、病気で亡くなった人体にはどのような変化が起きているかが、詳細に記述されました。さらに顕微鏡が発明されると、体が「細胞」という小さな生命体からできていることがわかり、病気も「細胞」レベルで理解されるようになりました。体や病気についての情報が飛躍的に増えるとともに、例えば、「がん」とはどんな病気か?私たちの体は「がん」とどのように戦っているか?等々、の疑問に答えるため、学問は体系的に整理され、情報は蓄積されていきました。それは、まさし



副院長 土井 幹雄 (写真中央)

く「病理学」の誕生と発展の歴史です。かつて、「医(学)者」はみな、少なからず「病理学者」でした。しかし、近年の科学の急速な進歩は、より高度の「専門性」を求めるようになりました。現在では「臨床」「放射線」、「病理」などと、その役割はわかれており、臨床も「~内科」「~外科」など、更に専門化・細分化が進んできています。

ところで、私たちの体は、肉眼では見えない、小さな細胞という数十兆個の生命体が集まって、組織や臓器を形づくり、一個のヒトとして、生命活動を行っています。つまり、細胞は、複雑にその役割を分担して、一つの社会を形成しているわけですが、この細胞社会の「乱れ」が「病気」だとも言えます。

私たち病理医は、細胞社会からみた病気の原因や成り立ちを「言葉で表現する」専門家です。私たちの「病理外来」では、時間を十分にかけて、患者やご家族の皆様が納得できるように組織生検や手術の摘出標本をもとに、「病気」や「病気の診断」についてご説明をいたします。ご自身の病気への理解を少しでも深めていただくことで、臨床の先生方をはじめ、医療関係者とのコミュニケーションが取りやすくなるよう、時には病気と向かい合いながら、より良い生活の質が保てるよう、お手伝いをいたします。「病理外来」のご利用については、主治医あるいは「地域医療連携相談室」にどうぞお気軽にご相談ください。

# 病気を知るうい 豆知識 「脳梗塞」とは?

割を占めています。



脳神経外科 **鯨岡 裕**言

わが国の脳卒中による死亡者数は年間約13万人にのぼります。病気別では「がん」、「心臓病」に次ぐ第3位ですが、患者数は130万人と非常に多く、かつ増加中です。寝たきり、介護の必要な患者さんの3~4割は脳卒中が原因で、これは第1位です。脳卒中にはいくつかのタイプがありますが、脳梗塞が全体の約7~8

脳の血管が何らかの原因で狭窄(狭くなる)、閉塞(つまる)になるとその先にある脳細胞に血液が充分に行き渡らなくなります。脳細胞は血液に溶けている酸素と糖分で生きているのでこれが足りなくなると脳細胞は死んでしまいます。これが脳梗塞です。死んでしまった脳が手足の動きに重要な場所であれば手足の麻痺になりますし、言語に重要な場所であれば言語障害が出るのです。脳血管がつまる原因には大きく分けて2つあります。

## 血栓症

動脈硬化によって徐々に血管の中が狭くなりついには閉塞するもの。症状は徐々に進行することが多く、時には一時的に麻痺や言語障害が出てその後改善する場合(一過性脳虚血発作)もあります。

### 寒栓症

血液の固まりが血管の中を流れて脳血管に流れて閉塞させるもの。多くは心臓の不整脈(心房細動)により心臓の中で血液がよどんで、血液の固まり(血栓)ができるとこれが血液の流れに乗って脳血管に運ばれ血管をつめてしまうものです。いきなり血管がつまるため症状は突然に起こります。また太い脳血管がつまることが多いので症状も重い場合が多いと言えます。

脳細胞は血液が途絶えてすぐに死に至るわけではなく、一定の脳虚血(血が足りない状態)を経て死に至ります。一般的に発症から3~6時間を経過して死に至ると言われており、それより前に早期診断をして治療に進めば脳細胞を助けることができる可能性があります。脳血管に詰まった血の塊を溶かす新しい血

10月、脳梗塞治療用として承認されました。この療法の大前提条件は、発症(あるいは発症していなかったことが確認された最終時刻)から3時間以内に治療開始が可能なことです。病院での診断に要する時間も考えると、発症から2時間目位までに、治療可能な医療機関を受診する必要があります。したがって、

栓溶解薬「組織プラスミノゲン活性化因子(tPA) | が平成17年

重要なのは「脳梗塞を起こしたら、3時間以内に病院で治療を受ける」ことです。しかし、国立循環器病センターの調べでは、発症後3時間以内に受診した患者は19%しかいないといいます。これは、脳梗塞と気づくのが遅れた、救急車を呼ばず自力で来院した、すぐに動かさない方がいいと思い患者さんを翌日まで寝かせておいた、などが原因でした。

高齢者に多い脳梗塞は、今後さらに増加し、重症化すると予想されています。予防を徹底し、t-PAを用いた超急性期治療を普及させなければなりません。

〈図1



# 院内トピックス

# 看護週間 イベント

# 「アロマオイルを使ったハンドマッサージ体験会



5月12日はナイチンゲールの誕生日です。 この日を含む1週間は「看護週間」とされ、 毎年世界中で様々な看護の催しが行われます。

今年のメインテーマ

「看護の心をみんなの心に」(日本看護協会)のもと、当院では「看護の心、手から手へ」をテーマとして、ハンドマッサージ体験とハーブティー試飲の会を開きました。

企画・実行委員20名が、約2週間前からプログラム・広報・会場レイアウト・物品などの準備を行い、当日は病院2階の婦人科外来が、アロマとハーブティーの香りが漂う"癒しの空間"になりました。

入院患者さん・外来患者さんやそのご家族、職員など多くの方にご参加いただきました。来場者アンケートでは「人の手の温かさを感じた」「日ごろ感じない気持ちよさを味わった」などの感想をいただきました。また、ハーブティーや心ばかりのプレゼント「手作りの香り袋」も好評でした。心地よい香りと音楽が流れる中でのマッサージには、実施する看護師も癒されました。

ご来場いただいた多数の皆様、ご協力いただいた病院職員の皆様、どうもありがとうございました。 看護局 黒木 淳子





# 救急外来(休日夜間)入口の段差解消

救急外来及び休日夜間の出入口としてご利用頂いております 入口手前には、これまで段差があり皆様にご不便をおかけして おりました。今年3月までに大規模な工事を行い段差を解消しま した。また、昨年度から急増する救急車による患者搬送の入口 も併せて改良し、救急室へスムーズな搬送が可能となりました。

## 平成19年度の救急患者数及び救急車受入件数

救急患者12,562人 (18年度比1,078人増) うち 救急車受入件数 3,344件 (18年度比851件増)





【改修前】

【改修後】

2

3